



PRESS RELEASE 2013年9月10日

シルバーシーの最新探検船が登場

太平洋の美しく広大な海を航海

シルバーシーの8隻目の船、シルバー・ディスカバラー
2014年3月よりミクロネシア、メラネシア、ポリネシア、極東ロシア
東南アジア、オーストラリア、ニュージーランドへ就航
小樽や屋久島、沖縄、宮古島、西表島、竹富島などの日本の港にも寄港



ラグジュアリークルーズの最高峰、エキゾチックなエリアを航行するシルバーシー・クルーズは、2014年からの最新の探検船、128人の乗客定員シルバー・ディスカバラーの登場で、より魅力的な辺境の地への航行をスタートします。

シルバー・ディスカバラーで、ゲストのみなさまは極東ロシア、東南アジア、ニュージーランド、知られざる秘境のひとつオーストラリアのキンバリー地域に加え、ミクロネシア、メラネシア、ポリネシアの辺境を探検することができます。北西オーストラリアに位置する広大なキンバリー地域は、日本の1.1倍の大きさになります。

シルバーシーの8隻目となるこの小型船は、シルバー・エクスプローラー、シルバー・ガラパゴスに続いてシルバーシー・エクスペディションズに加わることとなります。2008年の登場以来、シルバーシー・エクスペディションズは、世界でも最高峰のラグジュアリー探検クルーズラインとしての地位を確立しました。ゲストのみなさまは、環境を壊さずに、驚異的な風景を楽しんだり、海洋生物、野生生物を身近に感じたり、世界でも最後の荒野をこの目で確かめていただくことができます。これらのツアーは、本格的な探検船で、世界でも有数の探検の専門家によって率いられます。

シルバー・ディスカバラーは、2014年3月1日の就航に向け、大々的な改装に入り、5つのカテゴリーのスイートが完成します。乗客定員は128名、12艇のゾディアックボート、グラスボトムボート、スイミングプール、ジム、ビューティーサロン、レストラン、プールサイドグリル、ディステネーションについて事前に学ぶためのレクチャールーム、パノラマラウンジといった施設を取り揃えています。総トン数5,218トン、全長103.6メートル、全幅15.5メートルです。

ゲストのみなさまには、エクスペディションリーダー、ダイブマスター、海洋生物学者、歴史家、地質学者、自然学者など11人からなる幅広い知識を持つシルバーシー・エクスペディションズのチームが、ためになる知識や体験を提供します。

「シルバーシーは、2014年の20周年に合わせ、最新の探検船を発表し、世界中の辺境への旅をするという伝統を続けて行きます。シルバー・ディスカバラーでは、ドラマチックな景観や、歴史的な場所、環境を重要に感じられる地域に、シルバーシーのゲストが期待する設備をすべて備えた快適な今日最もラグジュアリーとなる探検船で太平洋の島々を廻ることができます」と、シルバーシー・クルーズ CEO、エンゾ・ヴィソーネは語ります。

シルバー・ディスカバラーの2014年のクルーズは、2013年9月10日から販売がスタートします。スケジュールの詳細は、www.silversea.com まで。

2014年シルバー・ディスカバラーのハイライト:

ザ・キンバリー:オーストラリアの秘境(2014年4月/11泊)

轟く滝、険しい渓谷、アボリジニの壁画、人気のないビーチ、地球上で最も人口密度の少ない地、これがキンバリーです。ゾディアックボートで荒野を巡り、ワニに気をつけながらマングローブや干潟でワシやミサゴを探します。モンゴメリー・リーフの潮の干潮による壮大な光景、100メートルの高さを誇るキング・ジョージ滝、ヘリコプターから臨む広大なミッチェル滝の光景を楽しみ、バングル・バングルの絶景を写真に撮ります。ダーウィンか西オーストラリア州のブルームにて乗船します。

ワイルドなシベリア:オホーツク海(2014年6月/19泊)

西洋の世界にはずっと閉ざされていた極東ロシアの地は、惑星で最も未開の地、驚異的な場所です。ここでは、手のつけられていない森林や、原始時代からのツンドラや、サケを捕るヒグマや、日光浴をするアザラシ、何千頭ものアシカ、繁殖する海鳥など、数多くの野生生物と触れ合うことができます。珍しい西洋コククジラなどのクジラは、オホーツク海に戻り始めています。サハリンや西カムチャッカ半島から千島列島へと、このクルーズでは、今まで観光客が足を踏み入れてこなかった僻地の大自然を探検します。ハイライトは、ゾディアックでのクルーズ。クマやホッキョクギツネやラッコ、アザラシ、クジラ、オオワシを探し、雪に覆われ噴煙をあげる火山を写真におさめ、サケが生息する川をシベリアの針葉樹林の間をぬって進み、ペトロパブロフスクを発見した伝説の探検家、ヴィトゥス・ベーリングの足跡を辿ります。北海道、小樽で乗下船します。

様々なインドネシア(2014年3月/17泊)

1,000の島を持つ国として知られるインドネシアには、マレーシアからオーストラリア、インド洋から太平洋にかけて、17,000もの島が点在しています。この世界で最大の群島は、白い砂のビーチ、トルコ石色の海、翡翠色の景観、そして霧のかかった火山にあふれる美しい場所です。ハイライトは、コモド島への寄港、世界で最大のトカゲとの出会い、カラフルな熱帯業と戯れるスノーケリング、ラマレラの捕鯨船での体験です。

マイクロネシア、メラネシア、ポリネシア(2014年11月/18泊)

太平洋の離島を経由し、オーストラリアのケアンズからニュージーランドのオークランドまでのクルーズ。世界でももっともエキサイティングなスノーケリングやダイビングを楽しみ、地元の伝統的なセレモニーを体験し、古代からの風習を学びます。ゾディアックのボートでは、大型船では行きつくことのできない小さな島や珊瑚礁を訪れることができます。ハイライトは、キリバスの保護地区、フェニックス諸島、ボラボラやニューカレドニア、クック諸島、ソロモン諸島のプラムプディング島として知られるケネディー島、バヌアツのルグンビルやシャンパンビーチへの探検です。

シルバーシーは、世界でも有名な、世界の科学的調査をサポートするイギリスの王立地理学会とパートナーシップを結んでいます。このパートナーシップにより、シルバーシーのゲストのみなさまは、シルバーシーで訪れるディスティネーションのより詳しい情報や歴史的な古文書を特別に入手することができます。また、資格をもったシルバーシーのエクスペディションスタッフを通じて、王立地理学会の資料や地図、文化遺産、地理学の専門知識で、訪れる地域の野生生物や自然、地理の説明を受けることができます。

シルバーシー・クルーズとは

マンフレディ・ルフェーブル・ドヴィデオが会長を務めるシルバーシー・クルーズは、シルバー・クラウド、シルバー・ウインド、シルバー・シャドー、シルバー・ウィスパー、シルバー・スピリットを通じて大型船同様の快適さを提供する、ラグジュアリー・クルーズ界のイノベーターとして知られています。2008年6月には、威厳ある探検船、シルバー・エクスプローラーが登場し、2013年後半には、シルバー・ガラパゴスが加わります。シルバーシーは、いまや7つの大陸の、地中海やカリブ海、北極、南極といった500以上の魅力的な寄港地を廻るクルーズ会社となりました。

シルバーシー・クルーズの詳細はインターナショナル・クルーズ・マーケティング株式会社まで。Tel: 03-5405-9213 www.silversea.jp

シルバーシー・クルーズは、アメリカでコンデナスト・トラベラーの読者により9回、トラベル&レジャーでは7回「ワールド・ベスト」に選ばれています。2012年のCruiseReport.comでは、「ベストラグジュアリー・クルーズライン」に選ばれ、2013年、アメリカン・アカデミー・オブ・ホスピタリティー・サイエンスからは「ファイブスター・ダイヤモンド・アワード」を獲得し、イギリス版コンデナスト・トラベラー2013年の調査では、「スモールシップ部門 - ベストクルーズライン」に、2012年には、オーストラリアのクルーズ誌、クルーズ・パッセージでは、「ベストラグジュアリー・クルーズライン」に選ばれています。また、2012年、中国のトラベル&レジャー誌で「ベスト・スモール・ラグジュアリー・クルーズライン」に選ばれました

Photos: ©Lex Santoso, ©Vanuatu Tourism Office

取材の問合せ先

株式会社フレア 岡部昭子

Tel: 03-5765-6631

E-Mail: ao@flairjapan.com